

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-99891

(43)公開日 平成7年(1995)4月18日

(51)IntCl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 2 3 G 3/30

B 6 5 D 65/30

85/60

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-247157

(22)出願日 平成5年(1993)10月1日

(71)出願人 000208226

大和グラビヤ株式会社

愛知県名古屋市北区金城1丁目7番23号

(72)発明者 森井 克也

名古屋市北区金城一丁目7番23号 大和グ

ラビヤ株式会社内

(72)発明者 柴田 幸彦

名古屋市北区金城一丁目7番23号 大和グ

ラビヤ株式会社内

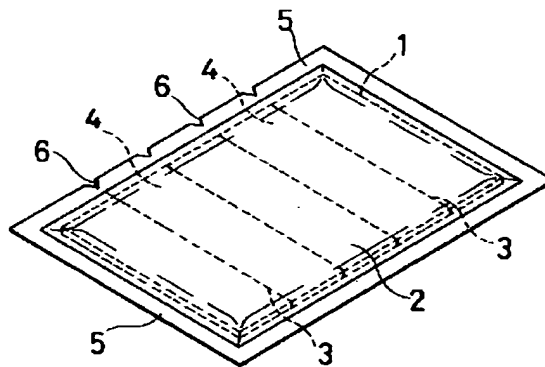
(74)代理人 弁理士 石田 喜樹

(54)【発明の名称】 ガム製品

(57)【要約】

【目的】 包装を簡素化して製品コストを削減し、ガムの取り出しを容易にするとともに、噛んだ後のガム包装用として包装紙を残らず使用する。

【構成】 板状の大判ガム1に切断案内線3を入れて複数のガム片4を形成する。大判ガム1の全体を包装紙2で一重に被包する。包装紙2を切断案内線3と整合する切裂き方向性を備えた樹脂フィルムで形成する。包装紙2の全周に接着部5を設け、その一片に複数のV字形の切込み6を切断案内線3の延長方向に位置するように設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 切断案内線を介して複数のガム片が形成された板状の大判ガムと、大判ガムの全体を一重に被包する包装紙とからなり、前記包装紙を切断案内線と整合する切裂き方向性を備えた樹脂フィルムで形成するとともに、包装紙の周縁には切断案内線と対応する位置に切込みを設けて構成したことを特徴とするガム製品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、板状の大判ガムを包装紙で一重に被包してなるガム製品に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のガム製品は、短冊状の板ガムを銀紙で包み、その上に包装紙を巻き、複数枚を重ねて、全体をさらに別の包装紙で被包して構成されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このため、従来のガム製品によると、3種類の包装紙が必要で、包装材料に無駄があるばかりでなく、高価な包装機械を使用する必要もあって、製品コストが高く付くという問題点があった。また、ガムを噛む場合に、3枚の包装紙を開ける面倒があり、しかも、噛んだ後のガムを包む包装紙は一枚で済むため、残りの包装紙が所構わず捨てられるという不都合もあった。

【0004】そこで、この発明の課題は、包装を簡素化して製品コストを削減できるとともに、包装を解いてガムを容易に取り出すことができ、しかも、包装紙を噛んだ後のガム包装用として残らず使用できるガム製品を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、この発明のガム製品は、切断案内線を介して複数のガム片が形成された板状の大判ガムと、大判ガムの全体を一重に被包する包装紙とからなり、包装紙を切断案内線と整合する切裂き方向性を備えた樹脂フィルムで形成するとともに、包装紙の周縁には切断案内線と対応する位置に切込みを設けて構成される。

【0006】

【作用】上記構成によれば、大判ガムが包装紙によって一重に被包されるので、ガム製品の包装が大幅に簡素化される。ガム製品の包装を解く場合は、切込みを目印にして包装紙を破断すれば、包装紙が樹脂フィルムの切裂き方向性によって一直線に切断されると同時に、ガム片が切断案内線に沿って大判ガムから容易に切り離される。こうすれば、包装紙がガム片とほぼ同様に順次切断されるので、その切断片で噛んだ後のガムを包んで捨てれば、包装紙の全部を残らず使用することができる。

【0007】

【実施例】以下、この発明を具体化した一実施例を図面

に基づいて説明する。図1及び図2に示すように、本実施例のガム製品は、四角板状の大判ガム1と、その大判ガム1の全体を一重に被包する包装紙2とから構成されている。大判ガム1には切断案内線3を介して複数の短冊状のガム片4が形成されている。

【0008】包装紙2は切断案内線3と整合する切裂き方向性を備えた樹脂フィルムで形成されている。包装紙2の全周には、樹脂フィルムを加熱及び加圧してなる接着部5が設けられている。接着部5の一片には、複数のV字形の切込み6が大判ガム1の切断案内線3の延長方向に位置するように設けられている。なお、樹脂フィルムとしては、不透明、半透明、透明のものを何れも使用でき、勿論、文字や模様を任意の色で印刷することも可能である。

【0009】上記のように構成された本実施例のガム製品によれば、大判ガム1が包装紙2によって一重に被包されているので、従来と比較して、ガム製品の包装が大幅に簡素化される。それ故、包装材料に無駄がなくなり、包装機械も安価なものを使用できて、製品コストを大幅に削減することができる。

【0010】ガム製品の包装を解く場合は、図3に示すように、切込み6を目印にして包装紙2を破断する。すると、包装紙2が樹脂フィルムの切裂き方向性によって一直線に切断されると同時に、ガム片4が切断案内線3に沿って大判ガム1から形よく容易に切り離される。従って、ワンタッチの操作で包装を解き、包装紙2の切断片2aからガム片4を簡単に取り出すことができる。

【0011】この場合、切断片2aはガム片4とほぼ同様に順次切断されるので、その切断片2aで噛んだ後のガムを包んで捨てれば、包装紙2の全部を残らず使用できて、資源節約及び環境美化に寄与することができる。

【0012】なお、この発明は上記実施例に限定されるものではなく、例えば、大判ガム1の形状を任意に変更したり、ガム片の枚数を適宜に増減したりするなど、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で各部の形状並びに構成を変更して具体化することも可能である。

【0013】

【発明の効果】以上に詳述したように、この発明のガム製品は、切断案内線を介して複数のガム片が形成された板状の大判ガムと、大判ガムの全体を一重に被包する包装紙とからなり、包装紙を切断案内線と整合する切裂き方向性を備えた樹脂フィルムで形成するとともに、包装紙の周縁には切断案内線と対応する位置に切込みを設けて構成したので、包装を簡素化して製品コストを削減できるとともに、包装を解いてガムを容易に取り出すことができ、しかも、包装紙を噛んだ後のガム包装用として残らず使用できるという優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すガム製品の斜視図である。

3

4

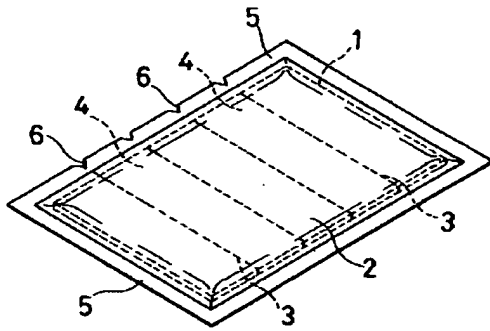
【図2】図1のガム製品の断面図である。

【図3】図1のガム製品の作用を示す説明図である。

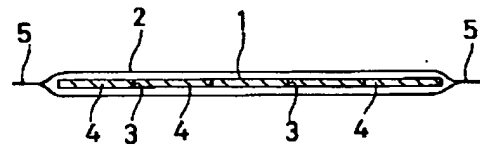
【符号の説明】

1・・・大判ガム、2・・・包装紙、3・・・切断案内線、4
・・・ガム片、5・・・接着部、6・・・切込み。

【図1】



【図2】



【図3】

